

令和2年12月7日朝礼

昨日はテレビや新聞などで、「はやぶさ2」の話題が報道されていました。「はやぶさ」は鳥の名前ですが、新幹線の名前にも使われていて、聞いたことがある人も多いと思います。今回の「はやぶさ」は、宇宙の小惑星を調べて、生命誕生の謎を解明することを目的とした探査機のことです。生命誕生と簡単に言いましたが、生命がはじめどのように誕生したのか、まだまだ分からないことがいっぱいです。生命が誕生しなければ、今の私たちもないことになってしまいます。

今からちょうど6年前、6年生の人は、まだ小学校に上がる前、今度の4月から小学生だねと言っているころ、1年生の人は、生まれたばかりの人もいるし、まだ生まれていない人もいる頃の2014年12月3日に打ち上げられました。それから6年間、長い旅を終えて、生命が誕生した謎を解くことができるかもしれない貴重な試料を持ち帰って地球に帰ってきたのです。もちろん、多くの人が、この計画のために努力をした結果です。私たち人間も含む生命がどのように誕生したのか、研究が進むことが期待されています。

さて、担任の先生から聞いているかもしれませんが、先週金曜日、12月4日から12月10日までを人権週間と言います。人権とは、「人は誰もがその人らしく生きていくことができる権利」のことです。しかし、現在も世界のあちこちで、戦争やテロのようなことで、多くの人が命を失ったり、家族をなくしたりしています。日本でも、相手の命を大切にしないことから起こる事件が起こっていて、とても残念なことです。

ここで皆さんに質問をします。「ふつう」って何でしょう。体の大きさの「ふつう」、皮膚の色の「ふつう」、性格の「ふつう」…もうお分かりですね。自分の「ふつう」と、他の人の「ふつう」は違います。人は、皆違います。顔、体の大きさ、皮膚の色、性格・・・など、皆違います。どちらが正しくて、どちらが間違っているということはありません。他の人の「ふつう」も大切にしなければなりませんね。

皆さん一人一人が、かけがえのない命をもっていて、一人一人精一杯生きています。はじめにも話したように、生命が誕生するということは、本当に大変なことなんです。人は皆、人として生きる権利をもっています。ですから、自分を大切にすることはもちろんですが、同時に、他の人の命や他の人の気持ちも大切にしていかなければなりません。

先日、5年生と6年生の子たちに、「ありがとうの本」が配られたと思います。たくさんの方の「ありがとう」をテーマに書いた作文が収められています。もう読みましたか。1年生から4年生の子たちには配られていませんので、その中から少し、紹介させていただきます。

「やさしい友達へ」

わたしがぜんそくの発作で苦しんでいた時に、「大丈夫？」って声をかけてくれてありがとう。こんな時期だから、発作が出るたびにまわりの視線が痛かった。ぜんそくは人にうつらない。でも、中には事情を話しても理解してくれなくて「コロナだ」って傷つける子もいた。それがこわくて、よけい発作がひどくなっていたけど、やさしい友達の「大丈夫？」という言葉に救われた。さまざまな情報が飛び交う今、不確かな情報に惑わされて自分を安心させるために自分勝手になったり、ほかの人を傷つけたりする人がいる。でも、私の友達は、私の話をちゃんと聞いて私を理解してくれた。やさしい言葉をかけてくれた。ありがとう。私もどんな時でもやさしさを忘れないようにします。

友達や周りの人のことを大切にすることとは、こういったちょっとした言葉がけから始まると思います。

皆さんも、自分の命や体を大事にすると同時に、友達や周りの人のことを大事にしてほしいと思います。